

かきおの社協

令和4年7月1日発行 第76号 柿生地区社会福祉協議会 発行人：久保倉 清 編集人：畠山 和宏
川崎市麻生区万福寺1-2-2(新百合21ビル1階) 電話：044(952)5500 FAX：044(952)1424
<http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao/>

3年ぶりに柿生地区社協定時総会が開かれました



久保倉 清 顧問

令和4年5月30日(月)
JAセレサ川崎柿生支店大
会議室で、令和4年度柿生
地区社会福祉協議会定時総
会が開催されました。
新型コロナウイルス禍の影響で3
年ぶりの開催となりました。
会員数285名

で85名(委任状125名)が出席しました。
議長に丸山聡氏(柿生第2地区民児協)
が選出され令和3年度の事業報告、決算
報告、そして令和4・5年度の役員改選、
令和4年度の事業計画、予算、会則並び
に規定の追加が提案され、審議の上承認
されました。



▲参加者の皆様

❖梅澤馨副会長が会長に就任されました❖

久保倉清会長、梅澤馨副会長をはじめ来賓のご挨拶と、
令和4・5年度は森政吉顧問
が退任、久保倉清会長が顧問
に、梅澤馨副会長が会長に就
任し、新役員の紹介がありま
した。

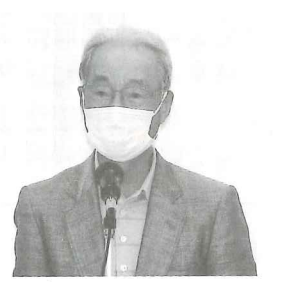


❖梅澤 馨 会長❖



▲役員の皆様

▼来賓の皆様



市川 幸一氏

皆様から拍手で迎えられまし
た。
永年柿生地区社協の福祉活
動にご尽力いただいた市川幸
一氏(地域子育て委員長)が
表彰されました。

総会に先立ち、久保倉清会
長は新型コロナウイルス禍前の60周年総会では150名の会員が参加
しました。そして新型コロナウイルス禍での経験、対策、過ごし
方が解ってきましたので3年ぶりに開催しました。

各委員会は福祉活動が
十分でござい残念でしたが、
出来ることを工夫しながら
活動をしてきました。
と挨拶しました。

来賓のご挨拶

三瓶 清美様 (麻生区区长)

新型コロナウイルス禍、政府の方針でいろいろ規制されてきましたが、定時総会を開催することができ良かった。麻生区になって40周年、当初の人口は96,000人だったが現在は181,000人となり、誰一人取り残されない町づくりを皆様の力で出来ると確信しています。

山本 浩真様

(川崎市社会福祉協議会麻生支部長) 3年ぶりの顔合わせ定時総会ができて大変嬉しい。麻生区社会福祉協議会が川崎市社会福祉協議会麻生支部に代わりましたが、福祉活動や予算は継続し変わりません。工夫は皆様と接して出来ることで柿生地区社協の力添えをお願いします。

宮野 敏男様

(麻生区町内会連合会会長) 柿生地区社協の福祉の尽力に感謝します。岡上町会長や高齢者の見守りなどで大変喜ばれました、これは社会福祉活動で学んだ事ができたからだと思います。

令和3年度事業総括

久保倉清会長より、令和3年度柿生地区社協の事業総括が報告されました。

例年、一番身近な存在として、地域の中から、住民が必要としている課題を拾い上げ、5委員会を中心に様々な事業の実施に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動が制限され十分な効果が得られなかった。必要な人に必要な情報供給が不十分でした。

●地域の課題を拾い上げていくことで、地域の中で小地域福祉活動が推進されてきたが、その結果、当地区社協事業に参加される方が毎年増加した。しかし、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業活動、研究会、講演会が次々中止され、例年に比べて大幅に減少した。

●今後も役員、委員、会員間の情報共有を密に行い、地域で必要とされる事業に努めていく。広報紙「かきおの社協」「ホームページ」「各委

令和3年度 柿生地区社会福祉協議会 一般会計収支決算書

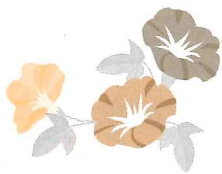
収入総額 5,127,537円
支出総額 3,273,240円
次年度繰越金 1,854,297円

* 収入の部 (単位: 円) *

会費	530,400
交付金	520,000
補助金	2,206,983
共同募金協力金	60,000
雑収入	16
繰越金	1,810,138
収入合計	5,127,537

* 支出の部 (単位: 円) *

運営費	187,278
委員会活動費	927,214
地域福祉行事協力費	0
社明運動実施費	100,000
研修費	3,598
共同募金協力費	118,500
団体育成費	674,000
交際費	0
慶弔費	0
負担金	61,000
繰出金(地域福祉事業債立金)	1,200,000
雑費	1,650
雑予備費	0
支出合計	3,273,240



●員会活動」を通して柿生地区社協の福祉啓発を推進した。今後もさらなる啓発に向けて、意欲的に取り組んでいく。

●区社協、東地区社協、町会連合会、民児協、保護司会、学校PTA、施設、老人クラブ等と連携し、福祉の増進に努めた。今後も引き続き、様々な場面で連携を図り、地域福祉の推進に努めていく。

●組織運営体制の自立に努め、活発に事業を行った。今後も引き続き推進していく。

令和4年度 柿生地区社会福祉協議会 役員名簿

役職	氏名	選出団体
顧問	久保倉 清 賛	同 者
会長	梅澤 馨	柿生第3地区民児協
副会長	渡辺 孝一	麻生区町会連合会
副会長	川田きくの	柿生第2地区民児協
会計	大沼 洋子	柿生第2地区民児協
会計	松岡喜代子	柿生第3地区民児協
理事	畠山 和宏	賛 同 者
理事	梅田 成	麻生区老人クラブ連合会
理事	吉垣 君子	柿生第1地区民児協 区主任児童委員部会
理事	市川 幸一	賛 同 者
理事	熊谷 幸代	柿生第1地区民児協
理事	中島 久幸	柿生第1地区民児協
理事	伊藤 道子	柿生第2地区民児協
理事	仲林 久夫	麻生区町会連合会
理事	伊藤 治	麻生区町会連合会
理事	杉本 秀治	麻生区町会連合会
理事	田邊亜佳音	片平長寿の里
理事	野島 昇	麻生区保護司会
理事	石井 秀明	柿生中学校
理事	安藤美恵子	コスモスの会
監事	依田 明子	金井 原 苑
監事	山本 聡平	柿生第3地区民児協

● 令和4年度 事業計画 ●

令和4年度の事業計画は、小地域福祉活動を軸に5委員会の活動や福祉関係団体への協力をしていく方針で7つの重点項目を掲げています。

重点項目

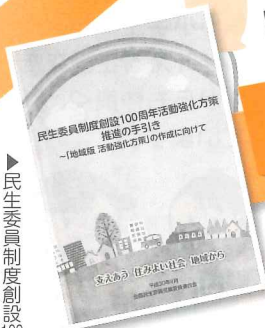
- 1 誰もが参加しやすい地区社協をめざし、地区社協組織及び活動を強化する。
- 2 福祉啓発及び情報提供活動を強化する。
- 3 住民参加による地域に密着した小地域福祉活動を推進する。
- 4 福祉活動の担い手づくりや育成に努める。
- 5 福祉活動推進のための支援・助成を進める。
- 6 委員会活動を通して福祉活動を推進する。
- 7 当社協の組織運営体制の自立を強化する。

5月12日は

民生委員・児童委員の日

柿生第3地区民児協 畠山 和宏

民生委員制度創設100周年
活動強化方策推進の手引き



民生委員制度は2017年に創設100周年を迎えました。

全国民生委員児童委員連合会（全民児連）はこの節目に「民生委員制度創設100周年活動強化方策」を発表しました。

内容は、民生委員・児童委員自身が今までの活動と、これからの方向性を確かめ合う内容で、これから10年を見据えた活動方針です。本年5月12日～18日は強化週間でした。



全民児協「100周年活動強化方策」

民生委員・児童委員に期待されているもの

- ① 変わらぬ住民の身近な相談相手、見守り役としての活動
- ② 地域の福祉課題を明らかにしていくこと
- ③ 児童委員であることを意識した活動
- ④ 多様な関係者をつなぐ「結節点(ハブ)」となること
- ⑤ 住民や地域の代弁者として積極的な意見具申、提言
- ⑥ 地域づくりの担い手となること

活動においては、民生委員・児童委員は専門職ではなく、行政や専門機関への「つなぎ役」であることをあらためて意識することが大切。

ワークシートによる地域版活動強化方策

川崎市民児協は、地域の状況がそれぞれ異なり、住民が直面する課題も地域それぞれに異なることから、全国共通の100周年方策を基本にした「地域版 活動強化方策」をその地域ごとに策定して、それに基づいた取り組みが効果的である。として柿生地区民児協は本年1月に各民生委員児童委員によるワークシートをまとめて川崎市民児協に提出しました。

3月17日(木) 川崎市福祉センターホールで川崎市民児協3地区のワークシートが発表されました。

麻生東第3地区民児協、小杉第1地区民児協、宮前第6地区民児協の3地区によるパネルディスカッション方式でワークシートが発表され、神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科 中村美安子教授の講評があり、6項目が民生委員児童委員の今後の活動指針として示されました。

- ① 気づく
- ② つなぎ、見守る
- ③ つなぎ先を増やす
- ④ 地域に活動を伝える
- ⑤ 住民相互に支えあう地域を作る
- ⑥ 災害に備える(平常時に地域をつなげる活動をする)

民生委員・児童委員は良き隣人として、地域の人々が抱える課題の解決に努力し、支援し、寄り添っていきます。

今年は3年に一度の民生委員児童委員の一斉改選の年です。定員に満たない地域や増員が望まれる地域など、町内会や自治会の協力をお願いしたいと思います。

柿生地区社協会員の活動紹介



ジョイ☆フレンズ

ジョイ☆フレンズ 代表 北村 知子

「ジョイ☆フレンズ」は、生まれつきの障害をもつ子どもとその家族の会です。平成30年(2018)11月に、設立20周年を大勢で祝うことができました。

平成10年(1998)、麻生区在住の肢体不自由児とその家族により発足した「ジョイ☆フレンズ」は、ボランティアグループ「さしす」が、永年変わらずにサポートして下さったお陰で、今日迄楽しい様々な経験を積み重ねてくる事ができました。

設立時は、小学生の学校行事への参加方法や、進学等悩みも多く、同じ境遇の家庭との繋がりを切望していました。今は、居ながらにして様々な情報を得る事ができるので、そんな会は要らないと思う家庭もあるかもしれません。しかし、将来の自立を考えると、学校と家庭以外の経験も必要です。色々な方とふれ合い、家族とは違う視点で子どもの未来を考えてくださる方々の助けやアドバイスは本当にありがたいものでした。

沢山のボランティアさんの優しいおおらかなサポート

のお陰で、社会人になった今、それぞれの場で元気に過しています。日曜日の午後、福祉パルあさおに三々五々集まり、楽し気に談笑する彼等を見ているのは嬉しいものです。

新型コロナ禍のために集まりは途絶えたままで、今後の見通しはつきません。様々な報道がなされ否が応でも不安はつづきます、情緒不安定にもなります。だからこそ居場所の必要性を強く感じています。せめてお母さん達だけでも悩みを打ち明けられたらと、懇親会を持つ事にしました。自分の子だけではなく、仲間にも心をくばる会でありたいと思っています。

ジョイ☆フレンズの会は社会人から小学生と年齢の幅があります。みんなのやりたい事を叶える企画をたてるのはなかなか大変ですが、これからも仲良く、くつろげる場であり続けたいと願っています。



※ご興味がある方は麻生区社会福祉協議会 (Tel 044-952-5500) へお問い合わせください。

敬老祝い品の贈呈のお知らせ

柿生地区社会福祉協議会では高齢者福祉事業の一環として、申し込みを受けて、高齢者の方に敬老祝い品を贈呈します。

対象者 柿生地区社協管内の方(下記参照)
(地区名は下記配布地域を参照)

*** 88歳の方**
昭和9年(1934年)1月1日～12月31日にお生まれの方

*** 99歳以上の方**
大正12年(1923年)12月31日以前にお生まれの方

※在宅で生活されている方が対象となります。

申し込み ご本人もしくはご家族からの申し込みを受けて 贈呈することになります。

**申し込み
期 間**

7月11日月～8月20日土 締切り

**お届け
時 期**

敬老祝日～9月末
(お祝いの品は民生委員児童委員がお届けいたします)

**申し込み
先**

柿生地区社会福祉協議会

●郵送 または ●FAXにてお申し込みください。

その際は、①住所 ②電話番号 ③氏名 ④生年月日 を
ご記入のうえ下記の申し込み先にお申し込みください。

●郵送 柿生地区社会福祉協議会(麻生区社会福祉協議会内) 宛
〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル1階

●FAX **044 (952) 1424**

●問合せ先 (麻生区社会福祉協議会) 電話 **044 (952) 5500**



郵送やFAXが難しい場合は、左記問合せ先にご連絡ください。

ホームページのお知らせ

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao/> から右帯の **柿生地区社会福祉協議会** を検索してください。
地域の福祉情報、講座・研修の予定等各委員会からの情報を速やかにお伝えするように努めます。

この広報誌は柿生地区社協管内の「王
禅寺・王禅寺西・王禅寺東・白山・虹ヶ
丘・上麻生・下麻生・早野・岡上・万
福寺・古沢・五力田・片平・白鳥・栗平・
栗木・栗木台・黒川・南黒川・はるひ野」
にお住まいの皆様には配布されています。

新型コロナウイルスの制限が緩和さ
れつつあります。福祉活動や取
材などで、皆様とお会いできる
ことを願っております。

(A・I)

柿生地区社協の福祉活動と会
員の紹介記事や福祉まつりなど
取材して記事にしますが、担
当者が書き上げた原稿を読み合
わせし、修正して読者の皆様が
理解しやすいような記事を心が
けております。

新型コロナウイルスで福祉活動が制
限されておりますが、私たちは
マスクにソーシャルディスタン
スで編集会議を行っております。
メンバーは民生委員児童委員
や各町内会や自治会からの参加
者で構成されており、家に帰れ
ば「じいじ、ばあば」と呼ばれ
るような人々たちです。

柿生地区社協では地域の方々
に福祉活動を知っていただき、
参加していただきたいと、「福祉
活動の見える化、主体的、自律
的運営の取り組み」を進めてお
り、広報誌「かきおの社協」は
その一環として、福祉活動やそ
の取り組みなどを地域の皆様に
紹介しております。

編集後記

マスクで編集会議

